



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社アイビス 上場取引所 東
コード番号 9343 URL <https://www.ibis.ne.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 神谷 栄治
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部門担当（氏名） 安井 英和（TEL）052-587-5007
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	2,347	33.0	539	125.7	549	139.7	374	168.8
2023年12月期中間期	1,765	—	239	—	229	—	139	—
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年12月期中間期	103.01		97.65					
2023年12月期中間期	43.21		41.26					

（注）1. 2022年12月期中間期については中間財務諸表を作成していないため、2023年12月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2023年3月23日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、新規上場日から2023年12月期中間会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	2,512	1,636	64.5
2023年12月期	2,109	1,289	61.0

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 1,620百万円 2023年12月期 1,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,794	17.3	1,164	168.4	1,178	175.3	813	181.7	223.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日（2024年8月9日）公表の「2024年12月期通期業績予想の上方修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2024年12月期中間期	3,648,835株	2023年12月期	3,635,063株
2024年12月期中間期	36株	2023年12月期	－株
2024年12月期中間期	3,639,996株	2023年12月期中間期	3,228,103株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間貸借対照表	5
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が緩やかに回復する一方、急速な円安の進行もあいまって、エネルギーや原材料価格の高騰による物価の上昇が続いております。ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東情勢の緊迫化など国際情勢にも不安定さが増しており、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社は、高成長事業であるモバイルペイントアプリ「ibisPaint(アイビスペイント)」シリーズの開発/運営を主軸としたモバイル事業と、安定成長事業であるスマートフォンやタブレットなどのインターネット端末でのアプリケーション開発支援を行うソリューション事業の2本柱で積極的な事業展開を行ってまいりました。世界200以上の国と地域にユーザを持つ「ibisPaint」においては、デジタルイラストユーザのトレンドを常に意識した魅力的な新機能や新サービスの更なる拡充に注力し、サブスクリプション課金などのマネタイズ策の強化に取り組んでまいりました。ソリューション事業においては、経済産業省が推進する企業のDX化をはじめとした情報技術の活用という社会的な使命や課題を背景に、需要が堅調なITエンジニアの厳選採用及び人材育成、法人顧客への営業活動を更に推進いたしました。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高2,347,615千円(前年同期比33.0%増)、営業利益539,517千円(前年同期比125.7%増)、経常利益549,879千円(前年同期比139.7%増)、中間純利益374,945千円(前年同期比168.8%増)となりました。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

<モバイル事業>

当中間会計期間におきましては、主力製品の「ibisPaint」についてはシリーズ累計のダウンロード数を積み重ね、2024年5月2日に大台の4億ダウンロードを達成し、2024年6月末日時点では4億1,343万ダウンロード(前年同期比24.1%増)となりました。モバイル事業部では、新機能の追加やサービス拡充、ユーザの声をもとにしたアプリの改善や仕様変更への対応(Ver.11.2.0からVer.12.1.2までリリース)をはじめ、YouTubeでの継続的なお絵描き講座の動画投稿、季節やトレンドに合わせた素材コンテストの開催(第37~39回)及び豊富な無料素材の追加など、常にユーザフレンドリーを意識した製品の提供に注力してまいりました。2024年3月には、イラストの拡大・縮小を繰り返しても描画した線が劣化しないという「ベクターレイヤー機能」などを実装したVer.12.0.0をリリースしたほか、PC(Windows)版の「ibisPaint」においてもサブスクリプションによるプレミアム会員サービス(月額300円、年額2,950円)を開始し、モバイル版と同様のプレミアム機能の利用が可能となりました。また、2024年5月には、画像生成AIによる追加学習を妨げるノイズをイラストに付与し、ユーザ独自の作風が模倣されることを防ぐ「AI学習妨害機能」などを実装したVer.12.1.0をリリースいたしました。いずれの新機能・新サービスも、ユーザの好評を博しております。

以上の結果、売上高は1,351,793千円(前年同期比33.9%増)となりました。売上区分別の国内売上高及び海外売上高は以下のとおりであります。

		前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)		当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)		
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減率 (%)
アプリ広告	国内売上高	198,187	26.9	222,223	24.1	12.1
	海外売上高	537,751	73.1	700,804	75.9	30.3
	計	735,938	100.0	923,027	100.0	25.4
アプリ課金 (サブスクリプション + 売切型アプリ)	国内売上高	94,098	35.0	130,610	30.8	38.8
	海外売上高	175,121	65.0	293,754	69.2	67.7
	計	269,219	100.0	424,365	100.0	57.6
その他	国内売上高	3,423	82.0	3,450	78.4	0.8
	海外売上高	750	18.0	949	21.6	26.5
	計	4,174	100.0	4,400	100.0	5.4
合計	国内売上高	295,709	29.3	356,284	26.4	20.5
	海外売上高	713,623	70.7	995,508	73.6	39.5
	計	1,009,333	100.0	1,351,793	100.0	33.9

当事業において主な収入源となっているアプリ広告につきましては、DAU(日次アクティブユーザ)は引き続き高い水準を維持し、また、広告市況は概ね良好でeCPM(広告単価)も比較的高い水準で推移し、更には為替円安も後押しした結果、売上高は923,027千円(前年同期比25.4%増)と増加いたしました。次に、アプリ課金につきましては、サブスクリプションは前述した各種新機能の追加やPC(Windows)版サブスクリプションの開始などのほか、既存ユーザに対するプレミアム会員サービスへの契約促進施策が奏功し、売上高は289,818千円(前年同期比114.4%増)、会員数は171,104人(前年同期比117.7%増)とそれぞれ2倍以上に大きく増加いたしました。但し、売切型アプリにつきましては、モバイル版・PC(Windows)版ともにサブスクリプションへの誘導が想定以上に進んだため、売上高134,546千円(前年同期比0.4%増)、当中間会計期間での販売数は89,136件(前年同期比20.6%減)となりました。また、当事業年度よりオーガニック成長へ転換し効果的な広告投資を行ったことにより、セグメント利益は668,601千円(前年同期比82.9%増)となりました。

<ソリューション事業>

当中間会計期間におきましては、クラウドコンピューティング技術等の急速な進化が後押しし、国内企業のモバイルアプリやWebアプリなどの開発支援需要が順調に増加いたしました。

受託開発は、BtoC向けからBtoB向けに緩やかにシフトしつつあるものの、情報通信業、製造業、エネルギー業、小売業、サービス業など多岐にわたる法人や地方自治体からのアプリケーション開発の受注が順調に増えており、いくつかの案件においては、クラウドサーバ構築・移行(サーバレス環境構築を含む)の支援が奏功し、安定した収入をもたらす運用保守案件も増加しております。IT技術者派遣は、大手SIerやソフトウェア開発企業など数多くの法人に対してハイスキルのITエンジニアを中心に受け入れが進みました。当事業におきましては、最新の技術(概念、環境及び開発言語)をマスターするための豊富な教育カリキュラム、顧客ニーズに合った様々なアプリケーション開発手法、AIを活用した開發生産性の抜本的向上策など、利益率が高いSI体制の構築に向けて諸施策の導入を積極的に推進しております。

日本国内におけるIT人材不足や急速な技術革新への対応が求められている中、当事業は、強みである最新の技術力とITエンジニアの採用力を土台に、スマートフォンやタブレットなどのインターネット端末におけるアプリケーション開発支援において高い顧客満足度を実現しております。引き続き、最新の技術を駆使したモバイルアプリ開発支援を強みに、より一層の事業拡大を目指してまいります。

以上の結果、売上高は995,822千円(前年同期比31.8%増)となり、内訳としては、受託開発が295,167千円(前年同期比186.9%増)、IT技術者派遣が700,654千円(前年同期比7.3%増)となりました。また、引き続きITエンジニアの採用などの開発人材投資を推進したこともあり、セグメント利益は95,535千円(前年同期比80.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の資産合計は2,512,664千円となり、前事業年度末に比べ403,339千円の増加となりました。

これは主に、現金及び預金が391,745千円、流動資産その他が14,937千円増加した一方、売掛金及び契約資産が11,907千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当中間会計期間末の負債合計は875,686千円となり、前事業年度末に比べ55,997千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が63,141千円、流動負債のその他が48,786千円増加した一方、未払金が58,053千円、長期借入金が14,454千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は1,636,977千円となり、前事業年度末に比べ347,342千円の増加となりました。これは、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ5,181千円増加するとともに、中間純利益374,945千円の計上による増加と剰余金の配当50,890千円の支払い等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は1,621,515千円となり、前事業年度末と比較して391,745千円増加となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動による資金の増加は503,365千円(前中間会計期間は85,463千円の増加)となりました。これは主に、税引前中間純利益549,879千円の計上及び未払金の減少55,092千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動による資金の減少は54,936千円(前中間会計期間は81,585千円の減少)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出51,331千円、差入保証金の差入による支出13,135千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動による資金の減少は57,800千円(前中間会計期間は526,063千円の増加)となりました。これは主に、株式の発行による収入10,362千円、長期借入金の返済による支出17,190千円、配当金の支払額50,838千円等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期業績予想につきましては、2024年2月13日に公表いたしました業績予想から上振れて進捗しているため上方修正いたします。詳細につきましては、本日(2024年8月9日)公表の「2024年12月期通期業績予想の上方修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,229,770	1,621,515
売掛金及び契約資産	457,506	445,598
貯蔵品	353	259
その他	59,318	74,256
流動資産合計	1,746,947	2,141,630
固定資産		
有形固定資産	21,818	18,517
無形固定資産	122,603	137,482
投資その他の資産	217,954	215,034
固定資産合計	362,377	371,033
資産合計	2,109,325	2,512,664
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	31,090	28,354
未払金	329,022	270,969
未払法人税等	128,215	191,356
賞与引当金	104,292	117,196
その他	144,776	193,562
流動負債合計	737,396	801,438
固定負債		
長期借入金	43,654	29,200
役員退職慰労引当金	32,916	39,501
その他	5,723	5,547
固定負債合計	82,293	74,248
負債合計	819,689	875,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	380,199	385,380
資本剰余金	377,800	382,981
利益剰余金	527,937	851,992
自己株式	-	△133
株主資本合計	1,285,937	1,620,220
新株予約権	3,698	16,757
純資産合計	1,289,635	1,636,977
負債純資産合計	2,109,325	2,512,664

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,765,072	2,347,615
売上原価	660,110	910,098
売上総利益	1,104,961	1,437,516
販売費及び一般管理費		
販売手数料	166,364	252,748
賞与引当金繰入額	7,399	13,633
役員退職慰労引当金繰入額	5,917	6,001
退職給付費用	979	1,326
広告宣伝費	337,280	245,193
その他	348,017	379,096
販売費及び一般管理費合計	865,958	897,999
営業利益	239,002	539,517
営業外収益		
為替差益	1,734	3,223
受取報奨金	2,364	6,853
その他	1,203	880
営業外収益合計	5,302	10,957
営業外費用		
支払利息	1,066	569
株式交付費	7,741	-
上場関連費用	6,134	-
その他	-	26
営業外費用合計	14,942	595
経常利益	229,362	549,879
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税引前中間純利益	229,362	549,879
法人税、住民税及び事業税	88,298	179,512
法人税等調整額	1,565	△4,578
法人税等合計	89,863	174,934
中間純利益	139,499	374,945

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	229,362	549,879
減価償却費	31,091	39,995
支払利息	1,066	569
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△9,236	11,907
棚卸資産の増減額(△は増加)	15	93
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,756	12,904
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,393	6,585
株式交付費	7,741	-
契約負債の増減額(△は減少)	5,482	41,995
未払金の増減額(△は減少)	△192,755	△55,092
未払法人税の増減額(△は減少)	7,885	△1,612
その他	63,297	11,333
小計	159,102	618,558
利息の支払額	△896	△434
法人税等の支払額	△72,741	△114,758
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,463	503,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,498	△3,254
無形固定資産の取得による支出	△41,486	△51,331
差入保証金の差入による支出	△21,732	△13,135
保険積立金の積立による支出	△2,245	△2,245
その他	△3,623	15,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,585	△54,936
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△19,389	△17,190
株式の発行による収入	551,586	10,362
自己株式の取得による支出	-	△133
配当金の支払額	-	△50,838
その他	△6,134	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	526,063	△57,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	1,118
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	529,941	391,745
現金及び現金同等物の期首残高	594,765	1,229,770
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,124,706	1,621,515

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,009,333	755,738	1,765,072	—	1,765,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,009,333	755,738	1,765,072	—	1,765,072
セグメント利益	365,646	53,008	418,654	△179,651	239,002

(注) 1. セグメント利益の調整額△179,651千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,351,793	995,822	2,347,615	—	2,347,615
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,351,793	995,822	2,347,615	—	2,347,615
セグメント利益	668,601	95,535	764,137	△224,619	539,517

(注) 1. セグメント利益の調整額△224,619千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	モバイル事業	ソリューション事業	
アプリ広告	735,938	—	735,938
サブスクリプション	135,202	—	135,202
売切型アプリ	134,016	—	134,016
IT技術者派遣	—	652,861	652,861
受託開発	—	102,877	102,877
その他	4,174	—	4,174
顧客との契約から生じる収益	1,009,333	755,738	1,765,072
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,009,333	755,738	1,765,072

当中間会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	モバイル事業	ソリューション事業	
アプリ広告	923,027	—	923,027
サブスクリプション	289,831	—	289,831
売切型アプリ	134,546	—	134,546
IT技術者派遣	—	700,654	700,654
受託開発	—	295,167	295,167
その他	4,387	—	4,387
顧客との契約から生じる収益	1,351,793	995,822	2,347,615
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,351,793	995,822	2,347,615